



A

- AAA モード 6-7, F-2
- ACS モード
 - Service Monitor での使用 6-9
 - 認証 6-7
 - ユーザ、設定 6-7
 - ユーザ ロールおよび特権、変更 6-9

C

- CallManager。「Cisco Unified CallManager」を参照
- CallManager 資格情報の検証 3-3
- CDR DB。「CDR データベース」を参照
- CDR データベース
 - CallManager 資格情報ステータス 3-3
 - アカウント B-7
 - パスワード B-7
- Cisco 1040
 - web インターフェイス 4-14
 - 削除 4-12
 - 追加 4-9
 - 到達不能、トラップ 4-20
 - フェールオーバー、について 4-16
 - 編集 4-10
 - リセット 4-12
- Cisco 1040 のリセット 4-12
- Cisco Secure Access Control Server (ACS) 6-7
- Cisco Unified CallManager
 - 資格情報 3-2
 - 使用されているバージョン 3-9
 - 設定 B-2
- Cisco Unified CallManager での SQL 認証 B-7
- Cisco Unified Operations Manager、トラップ レシーバとして 3-2

CVTQ

- しきい値グループ
 - 削除 5-8
 - 追加 5-4
 - レポート 2-9

D

- DHCP、設定 4-7
- DN。「電話番号」を参照
- DNS、設定 4-7

H

- HTTP
 - CallManager 資格情報ステータス 3-3
 - ユーザ名とパスワード 3-6
- HTTPS
 - CallManager 資格情報ステータス 3-3
 - ユーザ名とパスワード 3-6

I

- IP アドレス
 - Service Monitor システム、変更 6-17
 - エンドポイントとして入力 5-11
 - ワイルドカード、入力時に使用 2-4

M

- MIB
 - Service Monitor によって使用 C-1
 - システム アプリケーション、ログ ファイル 6-13

- O**
- Operations Manager、トラップ レシーバとして 3-2
- P**
- Permission Report 6-7
- S**
- Service Monitor
 - IP アドレス、変更 6-17
 - プロセス、停止および起動 6-10
 - ホスト名、変更 6-14, 6-17
 - Service Monitor の管理
 - SNMP、Service Monitor の管理
 - セキュリティ、クエリー対応に設定 6-12
 - クエリー、設定 6-11
 - システム アプリケーション MIB ログ ファイル、表示 6-13
 - SFTP
 - サーバプロセス 6-10
 - ディレクトリパス B-4
 - パスワード 3-14, B-4
 - smuser
 - パスワード、データベース B-5
 - ユーザ名 3-14, B-4
 - SNMP
 - Windows サービス 6-11
 - クエリー、のセキュリティ設定 6-12
 - トラップ レシーバ 3-2
 - SNMP MIB、Service Monitor のサポート E-1
 - サンプル MIB ウォーク E-8
 - システム アプリケーション MIB の実装 E-1
 - SNMP、Service Monitor の管理 6-10
 - SNMP クエリー、セキュリティの設定 6-12
 - SNMP クエリー、設定 6-11
 - Windows SNMP サービス、イネーブル化またはディセーブル化 6-12
 - Windows SNMP サービス、インストールおよびアンインストール 6-12
 - Windows SNMP サービス ステータス、判別 6-11
 - システム アプリケーション MIB ログ ファイル、表示 6-13
- T**
- TFTP サーバ
 - Service Monitor からの削除 4-4
 - Service Monitor への追加 4-4
- W**
- Windows SNMP サービス
 - アンインストール 6-12
 - イネーブル化 6-12
 - インストール 6-12
 - ステータス、判別 6-11
 - ディセーブル化 6-12
- あ**
- アカウント
 - CallManager アプリケーション ビリング サーバ B-4
 - Microsoft SQLServer
 - CDR データベース B-7
 - デバイス データベース B-7
 - アップデート
 - イメージ ファイル 4-17
 - サーバの時刻 6-17
 - しきい値
 - CVTQ グループ 5-6
 - グローバル 5-3
 - センサー グループ 5-11
 - アプリケーション ビリング サーバ。「アカウント」を参照
- い**
- イネーブル化
 - コール メトリックのアーカイブ 4-5
 - デバッグ 6-5
 - イメージ ファイル
 - アップデート 4-17
 - ダウンロード 4-17
 - バージョン 4-17
 - 隠匿
 - CVTQ レポート 2-12
 - SNMP トラップ C-3

- う
- ウイルス スキャン ソフトウェア A-2
- え
- エクスポート
- Most-Impacted Endpoints レポート、自動的 3-12
 レポート、手動 2-2
- エンドポイント
- IP アドレス 5-11
 ワイルドカード、使用方法 2-4
- き
- キープアライブ 4-16
- 既知の電話機カウント
- アップデート 3-11
 について 3-9
- 起動
- Service Monitor 1-5
 Service Monitor プロセス 6-10
 デーモン マネージャ 6-17
- く
- クラスタ。「Cisco Unified CallManager」を参照
- グローバルなしきい値 5-3
- アップデート 5-3
 デフォルトの復元 5-3
- け
- 警告、意味 x
- こ
- コーデック
- MOS 違反 SNMP トラップ C-3
- しきい値、設定
- CVTQ グループの 5-4
 グローバルな値 5-3
 センサー グループの 5-9
- レポート、生成 2-5
 CVTQ レポート 2-9
- センサー レポート 2-13
- コールメトリック
- アーカイブ、イネーブル化およびディセーブル化 4-5
 ファイル 6-4
 削除 6-4
 バックアップ 6-4
- コールメトリックのアーカイブ
- イネーブル化 4-5
 ディセーブル化 4-5
- さ
- 再開
- Cisco Unified CallManager クラスタの監視 3-10
 センサーの監視 3-10
- 削除
- CallManager の資格情報 3-8
 Cisco1040 4-12
 CVTQ グループ 5-8
 TFTP サーバからの Service Monitor の 4-4
 TFTP サーバのファイル 4-12
 センサー 4-12
 センサー グループ 5-12
- し
- 資格情報、CallManager
- 検証 3-2
 削除 3-3, 3-8
 追加 3-4
 編集 3-6
- しきい値
- グループ
- CVTQ 5-4
 CVTQ の優先レベル 5-7
 センサー 5-9
 センサーの優先レベル 5-12
- グローバル 5-3
- 時刻、サーバ上のアップデート 6-17
- システムアイデンティティセットアップ ユーザ
- Cisco Secure ACS 上 F-3
 Common Services F-2
- システムアプリケーション MIB の実装 E-1
- サンプル MIB ウォーク E-8
 リソース MIB テーブル E-1

- 以前に実行されたパッケージのステータス E-6
- 以前に実行された要素のステータス E-6
- インストールされているパッケージ E-2
- インストールされている要素 E-3
- スカラ変数 E-7
- パッケージステータス情報 E-4
- プロセス マップ E-7
- 要素ステータス情報 E-5
- システム管理 6-1
- 使用不可
 - MOS、理由 2-11
 - デバイス タイプ、理由 2-7
- せ
- セカンダリ Service Monitor
 - アップデート 4-10
 - 設定 4-5, 4-9
 - 表示 4-13
- セキュリティ
 - SNMP クエリー 6-12
 - 証明書 6-16
- 設定
 - Cisco 1040 4-10
 - Cisco Unified CallManager B-2
 - DHCP 4-7
 - DNS 4-7
 - Service Monitor
 - 初期 2-2
 - ビルディング サーバとして B-4
 - システム、SNMP クエリー 6-11
 - センサー
 - セカンダリ Service Monitor 4-5
 - デフォルトのコンフィギュレーション ファイル 4-5
 - プライマリ Service Monitor 4-5
 - ユーザ 6-7
 - ACS モードの使用 6-7
 - CiscoWorks Local ログイン モジュール 6-7
- センサー
 - 説明されている登録 4-16
 - レポート 2-5
- センサー イメージ ファイルのダウンロード 4-17
- センサーの登録 4-16
- た
 - 対象読者、このマニュアルの ix
- ち
- 注意
 - 意味 x
- 中断
 - Cisco Unified CallManager クラスタの監視 3-10
 - センサーの監視 3-10
- つ
- 追加
 - CallManager の資格情報 3-4
 - Cisco 1040 4-9
 - TFTP サーバの Service Monitor へのしきい値グループ 4-4
 - CVTQ 5-4
 - センサー 5-10
- て
- 停止
 - QOVR プロセス 4-8
 - Service Monitor プロセス 6-10
 - デーモン マネージャ 6-17
- ディセーブル化
 - コール メトリックのアーカイブ 4-5
 - デバッグ 6-5
- データベース
 - cmf パスワード、変更 6-15
 - Service Monitor
 - 消去 6-2
 - パスワード、変更 6-3
 - バックアップ 6-2
 - 復元 6-2
 - ディレクトリおよびウイルス スキャン ソフトウェア A-2
- デーモン マネージャ、起動および停止 6-17
- デバイス DB。「デバイス データベース」を参照
- デバイス データベース
 - CallManager 資格情報ステータス 3-3
 - アカウント B-7
 - 名前 B-7

- パスワード B-7
 - デバッグ、イネーブル化 6-5
 - 電話機
 - 監視対象 3-9
 - 既知のカウント合計 3-9
 - 既知の電話機カウントの更新 3-11
 - ライセンスの制限 3-9
 - 電話番号
 - 入力、エンドポイントとして 5-11
 - ワイルドカード、使用方法 2-4
- と**
- 特権、Cisco Secure ACS での設定 6-9, F-3
 - トラップ、SNMP
 - Cisco 1040 到達不能
 - 定義 C-4
 - について 4-20
 - MOS 違反、定義 C-1
 - センサーから、抑制 4-5
 - トラップ レシーバ
 - Operations Manager 3-2
 - 設定 3-2
 - デフォルト ポート番号 3-2
- に**
- 認証
 - ACS
 - ACS モード 6-7
 - および認可 6-7
 - フォールバック モード F-2
 - Microsoft SQLServer
 - 混合認証のイネーブル化 B-6
 - ユーザ アカウント B-7
 - 非 ACS モード 6-7
- は**
- バージョン
 - Cisco 1040 のイメージ ファイル 4-17
 - Cisco Unified CallManager B-2
 - パスワード
 - CDR データベース 3-4, B-7
 - CDRM データベース 3-3
 - cmf データベース 6-15
 - Service Monitor データベース 6-3
 - SFTP 3-14, B-4
 - smuser 3-14, B-5
 - デバイス データベース 3-4, B-7
 - バックアップ
 - Service Monitor
 - データ ファイル 6-4
 - データベース 6-2
 - コールメトリック ファイル 6-4
- ひ**
- 非 ACS モード
 - CiscoWorks Local ログイン モジュール 6-7
 - 認証 6-7
 - ユーザ、設定 6-7
 - 表記法、このマニュアルで使用する x
 - 表示
 - CallManager 資格情報ステータス 3-3
 - センサーの設定
 - Cisco 1040 4-14
 - Service Monitor での 4-13
 - TFTP サーバでの 4-14
 - モジュール別ログ ファイル 6-6
- ふ**
- ファイル
 - コールメトリック 6-4
 - 設定
 - センサー デフォルト 4-5
 - センサー固有の 4-10
 - 履歴ログ ファイル、管理 6-5
 - ログ ファイル 6-5
 - ファイル名
 - センサー イメージ 4-9
 - センサーの設定
 - センサー固有の 4-16
 - デフォルト 4-16
 - レポート、自動的に生成 3-13
 - ログ ファイル 6-6
 - フェールオーバー、Cisco 1040 4-16
 - プライマリ Service Monitor
 - アップデート 4-10
 - 設定 4-5, 4-9

- 表示 4-13
- プロセス
 - Service Monitor 6-10
 - 起動および停止 6-10
- へ
- 編集
 - CallManager の資格情報 3-6
 - Cisco 1040
 - 設定 4-10
 - デフォルト設定 4-16
 - しきい値グループ
 - CVTQ 5-4
 - センサー 5-10
- ほ
- ホスト名、変更 6-14, 6-17
- ポップアップブロック、ディセーブル A-2
- ま
- マニュアル xi
 - この～の対象読者 ix
 - ～で使用する表記法 x
- ゆ
- ユーザ
 - システムアイデンティティセットアップユーザ F-1
 - 設定 6-7
 - ACS モードの使用 6-7
 - CiscoWorks Local ログイン モジュールの使用 6-7
 - 特権
 - Permission Report 6-7
 - 変更 6-9
 - ロール 6-9, F-1
- ら
- ライセンス
 - アップグレード D-3
- 制限 3-9
 - 増加 D-3
 - 超過 D-4
- 評価、使用法 D-4
- ファイル
 - 取得 D-3
 - 登録 D-3
- れ
- レポート
 - Most-Impacted Endpoints、エクスポート 3-12
 - エンドポイント数の設定 3-12
 - ファイル名、自動的に生成 3-13
- ろ
- ロール、ユーザ
 - Cisco Secure ACS、設定 6-9
 - Cisco Secure ACS、変更 6-7
- ログファイル
 - 管理 6-5
 - デバッグ、イネーブル化およびディセーブル化 6-5
 - 場所 6-5
 - モジュール別 6-6
 - 履歴 6-5
- ログファイルの管理 6-5
- ログイン、CiscoWorks
 - 障害 F-2
 - フォールバック モード F-2
 - ログイン モジュール F-2